

## 六畳の家具から6jo、そして6joプロジェクトへ 「欲しかったモノできた」展

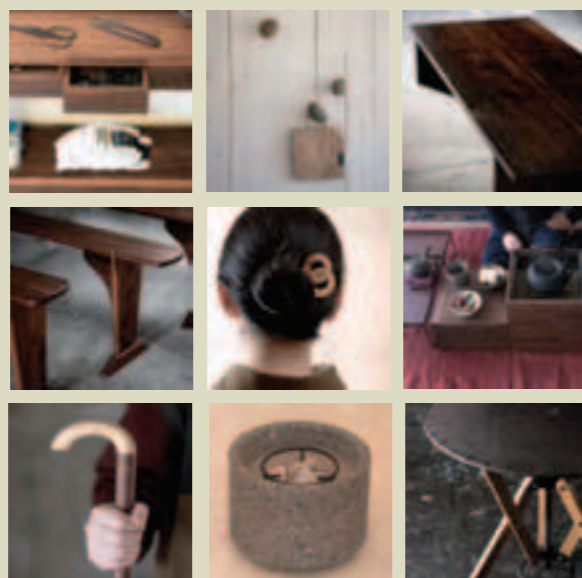
交流事業で2001年から始めた開発「六畳の家具」がさらに6joプロジェクトとしてアイテムを広げ、新しい商品が誕生しました。建築家中村好文と8人のクリエイターたちが、県内のメーカーとモノづくりに挑戦。県内の素材や技術を生かした家具や食器100点以上を展示発表会をします。

- とき：平成18年2月10日(金)～19日(日)
- 会場：銀座様ショップで開催。来場者数2,170名

- とき：平成18年2月21日(火・祝)～27日(月)
- 会場：三越高松店本館1階エントランスコート  
及び本館5階美術画廊前イベントスペース
- 主催：高松商工会議所 (JAPANブランド育成事業)



「欲しかったモノ」B5版・140頁  
ラトルス刊1,680円(税込)  
\*一般の書店で発売になりました。



<参加メーカー>  
一和堂工芸株式会社/株式会社桜製作所/有限会社横塚鉄工所  
株式会社三好石材/株式会社モリシゲ

赤木明登 (造師)  
小泉 誠 (リビングデザイナー)  
坂田敏子 (服飾デザイナー)  
高橋みどり (スタイリスト)  
永見真一 (家具デザイナー)  
中村好文 (建築家)  
前川秀樹 (アーティスト)  
三谷龍二 (工芸家&木工デザイナー)  
山口信博 (グラフィックデザイナー)



## JAGDA IN K@GAWA 2006

JAGDA (社団法人日本グラフィックデザイナー協会)の全国大会が四国で初めて香川県で開催されることになりました。つきましては、次ぎのような催しが開催されますので参加くださいますようご案内いたします。

### 【ONE DAY SCHOOL】

- ◆講演会：福田繁雄氏
- ◆対談：佐藤卓氏&服部一成氏
- ◆ワークショップ

ワークショップは、デザイナーを目指す学生たちや若手デザイナーによる「うちのデザイン」をJAGDAのメンバーがわかりやすく批評します。

- 日時：平成18年6月9日(金)  
講演会：10:45～11:40  
対談：12:30～14:15  
ワークショップ：14:40～16:45
- 講演会・対談会場：香川県県民ホール多目的大会議室
- ワークショップ会場：専門学校穴吹デザインカレッジ(錦町校舎)
- 対象：高校生・学生・一般
- 参加料：学生/2,000円、一般/3,000円  
(翌日のパーティー半額券付き)
- 主催：(社)日本グラフィックデザイナー協会
- 共催：香川県デザイン協会
- 特別協賛：専門学校穴吹デザインカレッジ
- 後援：香川県、高松市

### 丸亀うちわをデザインする【FUNFAN展】

日本の著名グラフィックデザイナー約50名によるオリジナルうちわ展

- 日時：平成18年6月初旬～
- 会場：サンポート高松タワー棟3階「かがわプラザ」

<http://www.funfan.org/>

### 【研修事業】

#### 大阪・京都美術研修

- 日時：平成17年11月20日(日)7:00～20:30
- 場所：大阪/国立国際美術館  
～戦後日本美術の転換点を検証～「もの派一再考」  
京都/国立博物館  
「最澄と天台の国宝」
- 参加者数：44名



大阪・国立国際美術館

京都・国立博物館

### 【研修事業】

#### 中小企業経営革新支援セミナー

- 日時：平成17年12月17日(土)  
第1部：15:00～17:00  
第2部：18:00～20:00
- 開催場所：講演会—第1部 香川県歴史博物館講堂  
交流会—第2部 北浜アリーナ-N.Yギャラリ
- 参加者数：講演会83名 交流会26名
- 主催：財団法人かがわ産業支援財団、四国経済産業局
- 共催：香川県中小企業団体中央会、香川県デザイン協会
- 後援：香川県、高松市



#### 第1部【講演会】

「商品開発前に知っておきたいマーケットの空気感」  
—生活者の志向性とライフスタイル関連企画の方向性—  
講師：株式会社t.c.k.w 代表取締役 立川裕大氏

#### 【トークセッション】

「富山県高岡市の地場産業振興策に端を発した  
【HiHill】プロジェクトにおける成功事例」  
—「技術を売る」伝統技術の新たな運用方法—  
有限会社ハイヒル：取締役 能作克治氏  
デザインディレクター：立川裕大氏

#### 第2部【交流会】

### 香川県デザイン協会入会状況 (平成18年1月末現在)

会員の入会・退会状況

| 区分         | 正会員 |    | 賛助会員 | 合計  |
|------------|-----|----|------|-----|
|            | 法人  | 個人 |      |     |
| 平成17年度総会時  | 42  | 75 | 54   | 171 |
| 入会         | 0   | 2  | 0    | 1   |
| 退会         | 4   | 5  | 5    | 14  |
| 平成18年1月末現在 | 38  | 72 | 48   | 158 |

### 【受託事業】

#### 「香川芸術フェスティバル2005」ポスター

- 香川県芸術祭運営委員会から委託を受け、会員に「香川芸術フェスティバル2005」ポスターのデザイン募集を行い、応募のあった13作品を同委員会に提出しました。
- 応募作品 7会員・13作品
- 採用作品 (有)猪子デザイン研究室の作品



#### 新「観音寺市」市章デザイン

- 観音寺市・大野原・豊浜町合併協議会から委託を受け、会員に新「観音寺市」の市章のデザイン募集を行い、応募のあった30作品を同協議会に提出しました。
- 応募作品 8会員・30点
- 採用作品 (有)ヴォックスの作品



#### 情報をお寄せください。

香川県デザイン協会会報は、会員と協会を結び情報紙として活動をしています。  
より充実した協会活動・会報紙にしたいと考えておりますので、みなさまのご意見をお待ちしております。

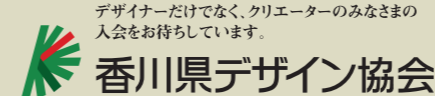
県内から広く応募のあった「綾川町」の町章デザインのコンペで当協会会員作品が選ばれました。

- 応募作品 548点
- 採用作品 大西洋三氏/ (有)ヴォックス



財団法人伝統工芸品産業振興協会による伝統的工芸品キャッチフレーズの募集で当協会会員の方が選ばれました。  
「大切にしたい日本の手しごと、伝統的工芸品」

- 採用 三宅剛氏



デザイナーだけでなく、クリエイターのみならず  
入会をお待ちしています。

香川県デザイン協会  
2006年3月発行  
事務局 ●〒761-0301 高松市林町 2217 番地 15  
(財)かがわ産業支援財団内  
Tel087-840-0348・Fax087-869-3710  
<http://www.kagawadesign.com/>  
E-mail:info@kagawadesign.com



香川県デザイン協会 会報 2006 vol.16



第47回日本民芸公募展 第4部優秀賞受賞・仁田 貴夫氏 / 一和堂工芸株式会社

## Part1:デザインフォーラム

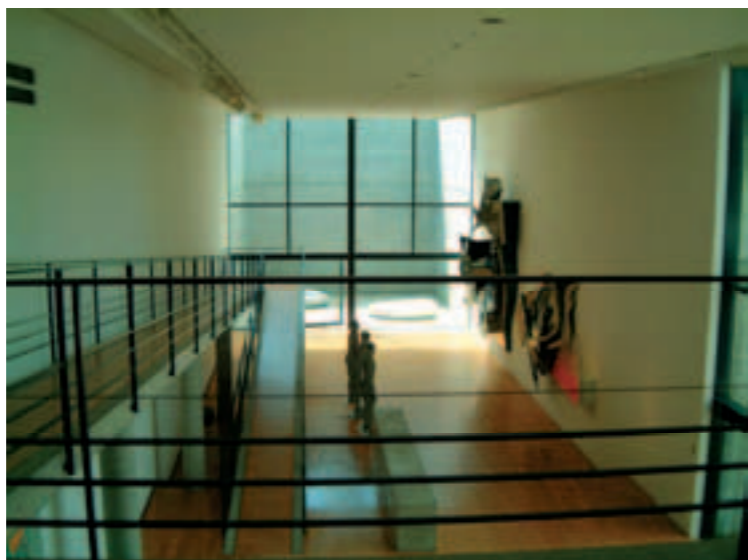
### 安藤忠雄講演会

- 日時：平成17年9月24日(土)
- 場所：高松市サンポート2-1かがわ国際会議場
- 講師：講師 建築家 安藤忠雄氏
- 演題：テーマ  
「体感するデザイン-その商業・サービス業への波及効果について」
- 共催：(社)日本商環境設計家協会四国支部
- 来場者数：530名



安藤氏はベネッセコーポレーションによる直島のプロジェクトだけでなく、高松市内には1980年代から商業ビルを設計するなど、香川県とも縁が深い。そんな安藤氏のお話には、自分たちが住む「まち」を楽しく豊かにするための多くのメッセージが込められていた。

「島全体を美術館にする-ということではじめて直島にやってきたとき、そこはただの島だった。この山を一番の島にしたいという福武さんの熱意があったからこそここまでやってこれたのだと思う。彼みたいに度を超して熱中する人がいるとある程度進むですね。地方都市はほとんど絶望的。地方都市の多くの人たちは“あかん”ということばかり言う。自分ががんばらねばどうしようもないわけで、一人ずつががんばらない限りどうしようもないのが“まち”全体、そして国なんです。自分たちがやる”ということ”を今この香川県の人が思っているか。これからもっと地方都市が衰退していく時に自分たちの“まち”を自分たちで立ち上げていくんだと。自分たちが仕事を考え、仕事をつくり、自分たちが街を豊かにしていくということを考えて、若い人たちがこの場所でこの地で次の時代のことを考えられるようになっていかないといけない。」



「やっぱり街を楽しくせないかん。高松は外に出かけて面白いですか？」仕事で行ってもミラノでは街が面白い。家の中にいたんじゃ街は面白くならない。女性のように好奇心をもってどんどん外に出ていこう、と安藤氏は言う。「女性は子どもが少し大きくなると、映画を観に行こう、音楽を聴きに行こう、美術館に行こう、いろんなことに好奇心があっているんなことを考えるのは女性なんです。出て行くためには自分の感性を磨いておかなければいけない。面白いことがあるところを見つけていかないかんと思うんです。好奇心が人間を長生きさせる。好奇心が一番大きなエネルギーになるんですね。」

「これからは文化を楽しむ時代、そして私たちの生活を支えてくれるものは“新しい・おもしろい・快適”という“デザイン”が大きな役割を果たすのだと思うんです。そのためにはデザイナーが勉強しないと、これまずいですよね。

## 「体感するデザイン—その商業・サービス業への波及効果について」

多くのデザイナーが勉強しないんですけども、それよりもクライアントの方がものすごく勉強するんですね。ヨーロッパ行っても、アメリカ行ってもいっぱい女性が建物を見て回ってますよ。ブティックする人はブティックを設計するデザイナーを見て回ります。そのことを考えると我々デザインする側はですね、もっと真剣にやらなきゃいかんかなと思ってます。みなさんも、どしどしと社会に出て勉強したり、新しいものを吸収したり、新しいものにふれていただきたい。その中で自分で面白いものを作らなければならない。デザイナーは向こうから仕事来ると思っていますが、そうではなく、面白いことを探していく、その中で新しいものが目の前に見えてくるんですから、仕事は作らねばならない。」

「今、青山同潤会アパート跡地の設計を行ってまして、まさか私にこの仕事回ってくるとは思ってなかったので感動しました。表参道のけやき並木のたっている、屋上を全部緑にしようと。地上をあまり高くできませんので、上に6階下に30m、どんどん地下へ行ってしまう。来年の2月の中頃にオープンしますが、長さ250mで実はこの建物、中もぜんぶスロープがあります。階段が裏側にありますが、メインは全部スロープで行ったり来たりします。メインの広場ですが、高い吹き抜けにもなっています。表参道ヒルズの屋上ですね、あと1年もたてば、1mぐらい大きくなりますから、けやき並木とつながってしまうだろうと考えています。1969年、仕事がなかった時代に何か面白い

ものはないかなと思って大阪駅前全部の屋上を緑にしませんかという案を大阪市に持っていきました。計画部長がきて、「おまえら若い」わたし20代でしたから若いやつは何を考えると。屋上にどなんして緑が生えるんや！と言われて、相手にしてもらえなかったんですが、作るならば、上は美術館、博物館、ここが大阪駅前ですから空中地上30メートルに、下はビル上は美術館。仕事を頼まれたわけではないですよ。こうしませんかと持っています。2回目も持っていったんですね。「安藤さん、これ以上入ってきたらどなるよ」と「これ以上入ったら自宅侵入だ」とまで言われました。その後になります、西尾さんという人が「安藤さんの言う案も面白かったのになあ」とあとの祭りはこまるんですな。私はやっぱり仕事がないといかん、仕事を作れと、自分で仕事を面白くするのがデザイナーなんですね。」

「ここにはたくさんの素晴らしいものがある。四国村もあるし、こんびらさんもある。何よりも、美しい瀬戸内海。同時にイサム・ノグチさんや猪熊弦一郎さんの仕事があり、多くの素晴らしい美術館がある。そして丹下健三さんが設計した香川県庁舎。世界に誇るべき建築がある場所として香川県は有名なんです。かつてこんな環境を生み出した金子知事という人がいました。そういう新しいものに勇気を持って仕事を頼む、何かをやるうとした人たちの遺伝子を持っているわけですから、その自分たちの勇気を振り絞ると必ず高松は良くなる。そう思います。」



## Part2: パネルディスカッション 同時開催

テーマ「体感するデザイン—その商業・サービス業への波及効果について」時代の潮流を色濃く反映する「商空間」を中心に、商業・サービス業の現況をデザイン界の視点から考える。

【コーディネーター】  
松本軍四郎氏 (SPA-DE編集長)

【パネラー】  
飯島直樹氏 (日本商環境設計家協会理事長)  
神谷利徳氏 (インテリアデザイナー)  
寒川徹司氏 (建築デザイナー・香川県デザイン協会副会長)  
香川眞二氏 (インテリアデザイナー)



パネル展示  
●日時：平成17年9月23日(金)  
●場所：高松シンボルタワー1階市民ギャラリー  
●テーマ：「五感からの空間演出」  
●年鑑日本の空間デザイン'04 パネル100点  
●JCD四国支部会員作品50点

### 【研修事業】

#### デザインフォーラム関連企画 地中美術館・家プロジェクト見学ツアー

- 日時：平成17年9月25日(日) 9:00~19:00
- 場所：地中美術館、ベネッセハウス、家プロジェクト
- 参加者数：40名

